

テスト設計コンテスト'24 OPEN クラス アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東海

チーム ID S250704001

チーム名 AVATES

チーム紹介

チーム名・メンバー構成の一部を変更しての参加となりますが、多くのメンバーは昨年度に続いての参加となります。参加メンバーは、異なる事業部からテストを生業にしている、テスト初級者からベテランエンジニア、管理者までの（ちょっと異質な）混合チームです。

今年度は参加メンバー全員が「やり切った感」を得られることを目標に参加しています。

テスト設計力向上とエンジニアとしての成長をめざして、本気で楽しみながら、コンテストに挑みます！

コンセプト

「真のテスト要求獲得」を第一に、一貫性のあるテスト設計の実現する！

をコンセプトに、テスト設計に取り組みました。

工夫点

テスト要求の獲得を起点に、テスト観点のモデリングをしながらテストを段階的に詳細化することで、一貫性のあるテストの実現を追及しました。そのために過程では、ソフトウェアエンジニアリングやマネジメント技術の概念や方法論を活用し、技術の再現性を高めることで、実業務へ展開できることを追及しました。

(1) テスト要求の獲得と観点整理

テスト重点項目とステークホルダーの視点から、プレストや分析・評価を通して、テスト要求をエンジニアリング・マネジメント視点で整理し、多面的な視点での要求獲得をめざしました。

エンジニアリング的要求は、整理したテスト要求からテスト観点の抽出までの過程でリスク分析の結果のインプットや妥当性検証を通して、段階的にテスト観点の完成度を高めました。

マネジメント要求については、各ステークホルダーの期待と関心、懸念事項から要求を整理し、品質リスクやテスト優先順位などテストアーキテクチャ設計へのインプット事項を明らかにしました。

(2) テストアーキテクチャ設計

テスト重点項目と仕様（機能）からトップダウンで導出したテスト観点と、獲得したテスト要求（エンジニアリング・マネジメント）からボトムアップで導出したテスト観点を要求モデルとして整理し、テストコンテナモデルとして完成させることで、テストの全体像と優先度を可視化しました。モデル化の過程では、テスト要求分析で整理したテスト観点とテストコンテナモデル間の一貫性を重視しブラッシュアップを重ねました。

(3) システム間連携可視化とテスト重点機能の絞り込み

利用時のリスクが高いシステム間連携のテストについては、システム思考にもとづく安全性分析手法 STAMP/STPA を活用して複雑なシステム間連携を可視化して、テスト重点機能の絞り込みを実施したことでテスト要求を満たす効率的なテストの実現を可能としました。

(4) ユーザビリティ、アクセシビリティテストの提案

ユーザーの利用時品質向上を目的に、ユーザビリティテストとしてのヒューリスティックテストやアクセシビリティテストを目的に応じて選択できるよう、提案しました。